

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	やむを得ず身体拘束を行う場合の家族への説明同意書・指針・会議録はあるものの、マニュアルと経過記録様式がない。	マニュアルと経過記録様式を作成し、家族へ報告する。	厚生労働省の「身体拘束ゼロの手引き」を参考にマニュアルを作り、実施時には身体拘束の経過記録様式に定期的に記録して、家族へ報告する。	3か月
2	6	ベッド柵を使用した身体拘束が行われている。その際、身体拘束を行う上での危険のリスクが高まる。	身体拘束ゼロを目指す。	家族と話し合いを重ね、身体拘束をしなくても良いケア方法を探し出す。	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。